

令和5年3月31日  
大臣官房技術調査課

## 業界団体との意見交換の取組成果をまとめました

～「令和4年度 国土交通省・日建連意見交換会」成果報告～

国土交通省では、建設現場の働き方改革や働きやすい職場環境の整備等を推進するため、一般社団法人 日本建設業連合会（以下、「日建連」という。）と定期的に意見交換を実施しており、このたび、令和4年度に実施した意見交換の成果として、直轄土木工事の令和5年度における取組をまとめましたので、公表いたします。

地区ごとに地方整備局と日建連とで公共工事の諸課題を意見交換し、その結果を踏まえ、国土交通本省も加わり、公共工事における働き方改革や生産性向上などを議論し、直轄土木工事の令和5年度における取組としてとりまとめました。

## &lt;地方整備局(公共工事の諸課題に関する意見交換会)&gt;

開催日	地区	意見交換の主なテーマ
令和4年5月16日	関東地整	<b>適切な公共工事の実施</b> (1)適切な予算と発注 (2)適正な工期設定と条件明示 (3)工程の共同管理 (4)建築工事の設計図書の適正化 <b>担い手の確保</b> (1)工事現場における週休二日の実現 (2)技能者の処遇改善 (3)技術者要件の緩和 <b>品確法の的確な運用</b> (1)入札と契約に関する改善 (2)設計変更に関する改善 <b>生産性向上</b> (1)施工業務の効率化 (2)プレキャスト工法の活用拡大 (3)新技術とDXの現場実装
5月19日	近畿地整	
5月23日	中部地整	
5月25日	東北地整	
6月1日	中国地整	
6月3日	四国地整	
6月6日	北陸地整	
6月9日	北海道開発局	
6月13日	九州地整	

## &lt;国土交通本省(フォローアップ会議)&gt;

開催日	会議	意見交換の主なテーマ
令和4年6月17日	意見交換会報告会	・意見交換会結果報告
7月26日	第1回フォローアップ会議	・フォローアップ会議の実施方針
11月28日	第2回フォローアップ会議	・適切な公共工事の実施 ・担い手の確保 ・品確法の的確な運用 ・生産性向上 等
令和5年1月24日	第3回フォローアップ会議	
3月15日	第4回フォローアップ会議	

## <意見交換の取組成果>

令和4年度の意見交換を踏まえ、令和5年度には、直轄土木工事の中で以下について取り組んでまいります。

### 1. 適切な公共工事の実施

#### ○ 入札情報の提供

- 令和4年度には、「公告予定月」や「一括審査方式」対象について、入札情報サービス（PPI）に記載する雛形を作成。
- 令和5年度には、各地方整備局において「公告予定月」の記載を順次開始するとともに、東北地方整備局等では「一括審査方式」対象についても記載予定。【別紙1】

#### ○ 余裕期間制度（フレックス方式）の活用促進

- 令和4年度には、全国約100件の工事において、余裕期間制度（フレックス方式）を試行。試行工事についてアンケート調査を行った上で、運用ルールを改善するとともに、仕様書等に記載する内容の雛形を作成。
- 令和5年度には、引き続き余裕期間制度（フレックス方式）の試行を行うとともに、中部地方整備局において、新たな運用ルール等に基づく余裕期間制度を試行予定。【別紙2】

### 2. 担い手の確保

#### ○ 技能者の処遇改善（建設キャリアアップシステム＜CCUS＞の普及等）

- 令和4年度には、CCUSブロック別連絡会議（各地方整備局建政部等主催）を全国8地区で開催。  
令和5年度には、同会議を通じ、企業評価未導入の1都7県に対して、個別に引き続き働きかけを行う予定。【別紙3】
- 令和4年度には、WTO工事だけでなく、業界サイドの理解が得られた都道府県内や職種においても、モデル工事を推進。  
（モデル工事の件数 令和4年度：170件（予定））

#### ○ 週休2日の実現（時間外労働時間の上限規制への対応）

- 令和4年度には、九州地方整備局及び四国地方整備局において、受注者の希望に応じて週休2日の取組内容（現場閉所・交替制モデル）が選択できる試行工事を104件実施。
- 令和5年度には、九州地方整備局において、受注者の希望に応じて、現場閉所での週休2日が困難となった場合に工期の一部を交替制に途中変更する工事を新たに試行予定。【別紙4】

### 3. 品確法の的確な運用

- 資材等価格高騰への対応
  - 令和4年度には、資材等価格高騰を踏まえ、スライド条項に関する質問への回答をまとめたFAQの作成や単品スライド条項の運用ルールの改正を行うとともに、業界団体や地方公共団体への説明会を実施。【別紙5】
  - 令和5年度には、引き続き資材等価格の変動状況を注視しつつ、地方整備局等における適切なスライド条項の運用を実施。

### 4. 生産性向上

- 施工の効率化（プレキャスト工法）
  - 令和4年度には、VFM（Value For Money）を取り入れた評価手法を取りまとめ、直轄土木工事5現場の設計業務において当該評価手法に基づく工法選定を検証。
  - 令和5年度には、VFMを取り入れた評価の考え方を確立すべく、直轄土木工事で活用するための要領案を策定予定。【別紙6】
  
- 遠隔臨場の活用促進
  - 令和4年度には、遠隔臨場の本格運用に伴う課題等を踏まえ、遠隔臨場の実施要領（案）を改定するとともに、「建設現場における遠隔臨場の取組事例集」第二版を作成。【別紙7】
  - 令和5年度には、各地方整備局において当該実施要領（案）や事例集の活用を促進しつつ、地方自治体等に当該要領等の活用を働きかける予定。
  
- 新技術とDXの現場実装
  - ・インフラDXモデル工事
    - 令和4年度には、四国地方整備局と日建連企業が連携し、最新技術導入に向けた地元建設企業の現場での協力支援を実施。【別紙8】  
支援を行った工事現場において、地元建設企業（34社）を対象に、現場見学会を開催するとともに、現場周辺の小学生と保護者を対象に「建設DX参観日」を開催。【別紙9】
    - 令和5年度には、引き続き日建連企業の協力支援を得て地元建設企業が活用した5技術の効果を検証するとともに、そのほかの最新技術も含めて普及促進を行う。また、その他の地域においても、このモデル工事を拡大した上で現場見学会を開催予定。

<問い合わせ先> 電話：03-5253-8111（代表）、03-5253-8221（直通）  
国土交通省 大臣官房技術調査課 建設システム管理企画室  
事業評価・保全企画官：藤浪（内線 22353）、係長：富吉（内線 22355）

- 業界との意見交換を通して、「**受注者による技術者等の体制の確保**」等のために、現在行っている「工事発注の見通し」に対し、より具体的な情報の公表が必要との意見あり。  
⇒入札情報サービス（PPI）や工事発注見通しの記者発表に、「**公告予定月**」や「**一括審査方式**」対象について掲載する試行を令和5年度に実施し、効果や課題を検証（東北地方整備局にて試行予定）

## 東北地方整備局発注工事における入札情報サービス（PPI）掲載イメージ

入札情報サービス	
<div style="text-align: right;"> <a href="#">ヘルプ</a> <a href="#">お問い合わせ</a> <a href="#">全国版TOP</a> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> <span>全国</span> <span>北海道</span> <span>東北</span> <span>関東</span> <span>北陸</span> <span>中部</span> <span>近畿</span> <span>中国</span> <span>四国</span> <span>九州・沖縄</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-size: x-small; margin-top: 5px;"> <span>●● 中長期の検索 ●●</span> <span>●●●●●●●● 工事の検索 ●●●●●●●●</span> <span>●●●●●●●● 業務の検索 ●●●●●●●●</span> <span>●●●●●●●● 発注機関の検索 ●●●●●●●●</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: x-small; margin-top: 5px;"> <span>中長期発注見通し</span> <span>発注の見通し</span> <span>入札公告等</span> <span>入札の経過</span> <span>発注の見通し</span> <span>入札公告等</span> <span>入札の経過</span> <span>発注機関情報</span> </div>	
発注の見通し（工事）案件概要	
発注機関	国土交通省東北地方整備局
留意事項	国土交通省東北地方整備局における令和4年度の工事の発注の見通しを下記の通り公表します。 なお、ここに記載する内容は、令和4年11月11日 現在の見通しであるため、実際に発注する工事がこの記載と異なる場合、又はここに記載されていない工事が発注される場合があります。 また、主要建設資材需要見込み量は、公表時点の概算の見込み数量であり、公表後変更することがあります。
担当部・事務所	宮城南部復興事務所
工事名称	阿武隈川水系内川流域築堤外（その3）工事
工事場所	自：宮城県伊具郡丸森町 至：宮城県伊具郡丸森町
入札契約方式	一般競争入札（標準型）
工事種別／工事の業種	一般土木工事
入札予定時期	第3四半期
工期	約7ヶ月
概要	築堤盛土工 V=10,800m <sup>3</sup> 堤脚水路工一式 排水路工一式 護岸工 1式 仮設工 1式  概算工事規模 200から300百万円
その他	本工事は、分任官契約により行う予定です。 一括審査方式（宮城南部復興事務所R4-1） <b>【●月公告予定】</b>
掲載月	2022年11月

「その他」欄に  
公告予定月や  
一括審査方式を記載

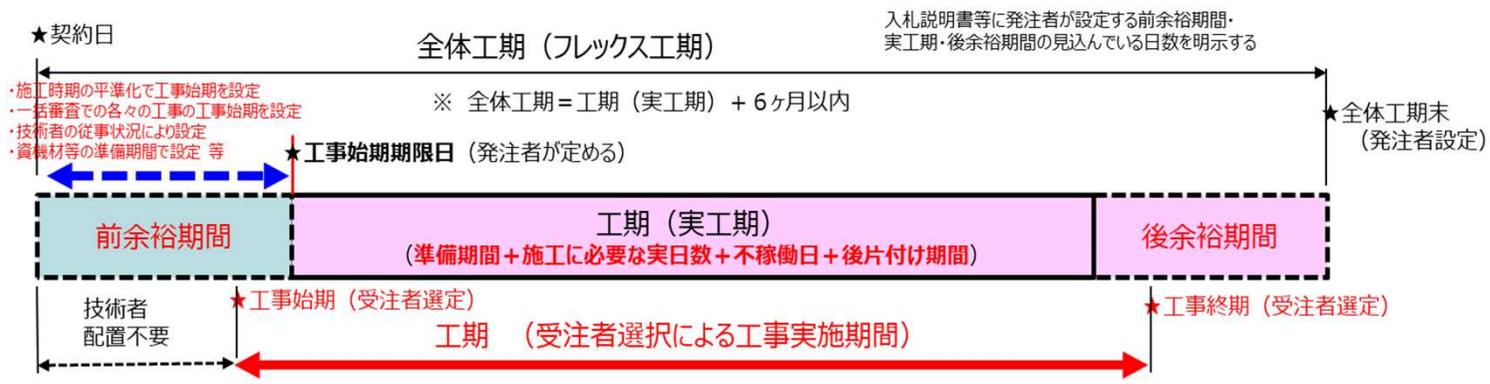
# 余裕期間制度(フレックス方式)の活用促進

○令和4年度に実施した受注者アンケートを通して、受注者が技術者配置計画を立てやすくなる等の理由から、**余裕期間制度が有効**であることを確認する一方、受注者が工事の始期と終期を全体工期内で選択できる「**フレックス方式**」のさらなる活用促進を求める意見がある。

⇒「フレックス方式」の活用促進を図るため、令和5年度は、中部地方整備局において、発注者が見込んでいる**余裕期間を「前余裕期間」と「後余裕期間」に分けて仕様書等に記載する運用ルールに改善**し、効果や課題を検証

## 中部地方整備局におけるフレックス方式の試行イメージ

全体工期の考え方・「前余裕期間」、「実工期」、「後余裕期間」をあわせた期間 (※以下イメージ)



- ① **前余裕期間** (※技術者等の配置は不要)  
契約の締結から工事の始期までの期間
  - ② **後余裕期間**  
受注者が柔軟な工期を設定するため、実工期の後に、一定割合を限度として加えた期間
  - ③ 工事の始期 (※資機材の準備は可)  
仕様書に示す「工事着手」をする日
- ※「後余裕期間」については設定しない工事もある。

<適用にあたっての考え方>

- ・対象工事は、**フレックス工期を確保できる全工事とする。**(通年施工となる経常維持工事及び随意契約を適用する応急復旧工事を除く)  
※ただし、工事内容や現場条件等により設定できないものは除く。

フレックス工期を適用外としている工事の例

- ・**早期着手が必要となる工事** ⇒災害復旧工事、経常維持工事等
- ・**関係機関等の協議に基づく工事** ⇒鉄道協議、河川協議に関わる工事等
- ・**製作期間を含む工事** ⇒機械設備、電機設備等の工事等

## ブロック別CCUS連絡会議

(全国8ブロックで開催)

各ブロックにおけるCCUSの活用・取組状況を踏まえ、建設業団体と地元都道府県等で情報共有・意見交換を実施（各地方整備局等の建政部が主催となり、日建連・各都道府県建設業協会・全中建等が参加）

<第2回連絡会議のブロック別開催状況>

① 7/11	四国	② 7/15	中部	③ 7/25	九州・沖縄
④ 7/26	近畿	⑤ 8/9	中国	⑥ 8/31	関東
⑦ 1/17	北陸	⑧ 1/26	北海道・東北		

<第1回連絡会議のブロック別開催状況>

・令和3年度に8ブロックで開催。(5ブロックでは加えて現場見学会も実施。)

### 議事

各機関のインセンティブ措置導入済み事例、検討中事項、各団体の取組状況等について説明・意見交換。

### 今後の方針

- 企業評価未導入の1都7県(青森県、山形県、千葉県、東京都、新潟県、富山県、奈良県、高知県)に対して、引き続き個別に働きかけを行う。

会議の様子



# 週休2日の実現(労働時間規制への対応)

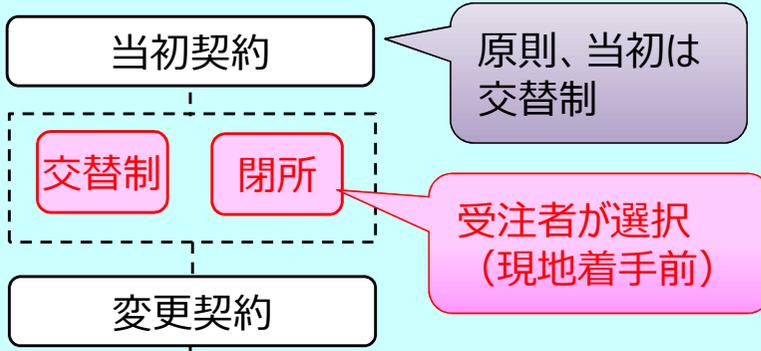
- 業界との意見交換を通して、「**受注者が閉所、交替制を選択できる方式の検討**」や、「**当初設計時、変更設計時とも、適正な工期の確保**」が必要との意見あり。
  - ⇒ 閉所を一層推進するため、令和4年度は**受注者の希望に応じて「交替制→閉所」が選択できる試行**を四国地方整備局と九州地方整備局にて試行を実施。
  - ⇒ 令和5年度は、**現地着手後、工期の一部を「閉所」から「交替制」に変更する試行**を九州地方整備局において一部工事を対象に実施し、効果や課題を検証。

## 受注者による選択制の試行

※ 週休2日は「4週8休以上の**現場閉所**(1日を通して現場や現場事務所が閉所)を行ったと認められる状態」を指す。ここでは「交替制(週休2日交替制)」との区別のため、「**閉所**」と称す。

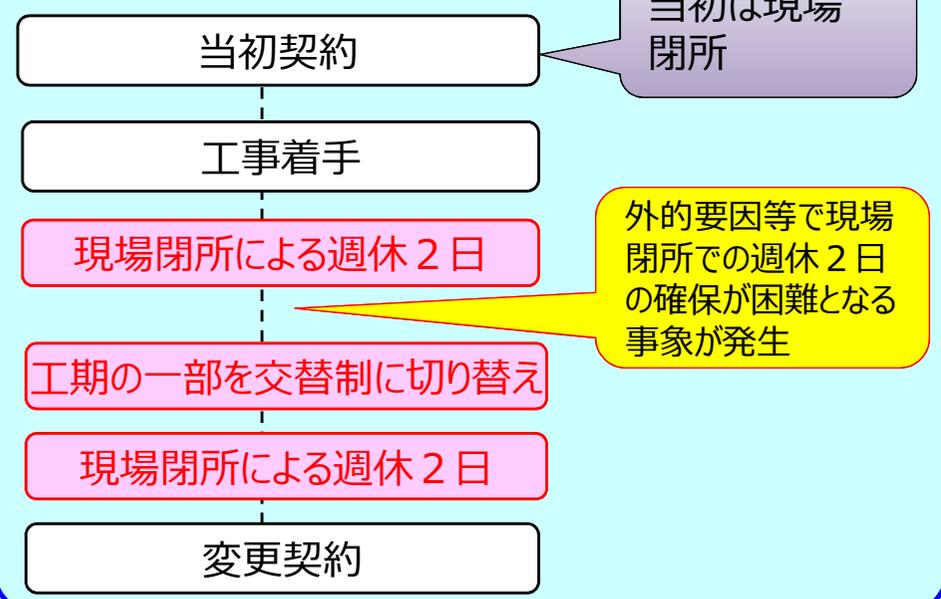
### 選択制の試行 (令和4年度)

○ 受注者が「**交替制**」「**閉所**」を選択する試行を令和4年度に四国地整と九州地整で一部実施



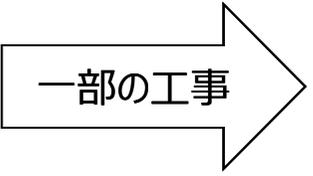
### 選択制の試行 (令和5年度)

○ 令和5年度は、**現地着手後、工期の一部を「閉所」から「交替制」に変更する試行**を九州地整で一部実施



#### 【業界等の意見】

外的要因等で現場閉所での週休2日が困難となった場合に工期の一部を交替制にできないか 等



# 資材等価格高騰への対応

○各種スライド条項（工事請負契約書第26条第1項～第6項）における規定、イメージ図、計算例、FAQなどを国土交通省のウェブサイトに掲載。

【掲載箇所】国土交通省ウェブサイト

URL:

[https://www.mlit.go.jp/tec/tec\\_tk\\_000101.html](https://www.mlit.go.jp/tec/tec_tk_000101.html)

QRコードによるアクセス:




The screenshot shows the MLIT website page for '各種スライド条項 (全体スライド、単品スライド、インフレスライド) について'. The page includes a navigation menu, a search bar, and a list of links for each category: '全体スライド', '単品スライド', and 'インフレスライド'. The '全体スライド' section contains a link to the '運用マニュアル (暫定版)'. The '単品スライド' section contains a link to the '運用改定について'. The 'インフレスライド' section contains links to the '運用について' and '運用改定について' for both the 5th and 6th items of Article 25, and a link to the '運用マニュアル (暫定版)' for the 6th item. The page also features a sidebar with '運用指針' and other related documents.

# 施工の効率化(プレキャスト工法)

## ◆VFMを取り入れた新たな評価の考え方の検討のための検証

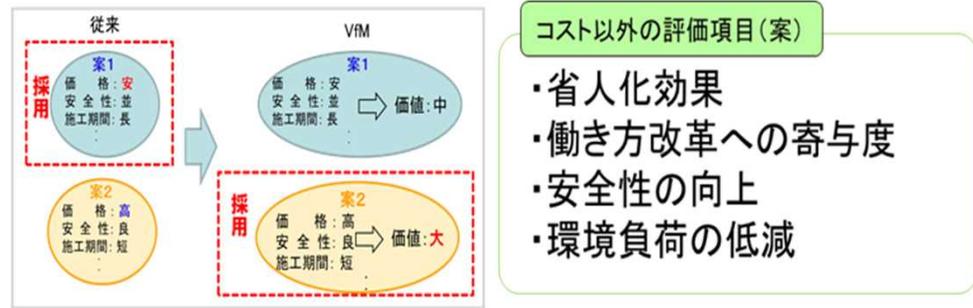
- 新たな評価の考え方を確立するため、評価項目として「省人化効果」「働き方改革への寄与度」「安全性の向上」「環境負荷低減」を設定。
- 上記項目に沿って、既存の直轄土木工事設計業務5件において、新たな評価の考え方の検証を実施。検証結果について、第12回コンクリート生産性向上検討協議会(R5.2.9)において報告。
- R5は、この評価の考え方を踏まえ、R6に直轄工事の設計業務において試行するための要領（案）の策定を予定。

### Value for Moneyの採用

コストの課題解決のため、VFMの考え方をPCaにおいて採用。

**Value for Money の概念・・・最大価値 > 最低価格**

支払(Money)に対して最も価値(Value)の高いサービスを提供するという考え方のこと



図：VFMの考え方、評価項目（案）

表：検証した直轄設計業務の一覧

番号	対象構造物	規格・寸法 (m)	断面積 (㎡)	断面区分	構造形式	備考
1	ボックスカルバート	B3.0×H3.5	10.50	中型	2分割	【PCa採用実績の評価項目】 ・経済性・施工管理・施工性・環境
2	ボックスカルバート	B4.0×H4.0	16.00	大型	2分割	【PCa採用実績の評価項目】 ・経済性・構造的性・施工性・品質・安全性・その他
3	ボックスカルバート	B4.5×H4.0	18.00	大型	4分割	【PCa採用実績の評価項目】 ・経済性・工程・施工性・品質・安全性・環境
4	ボックスカルバート	B2.0×H2.5	5.00	中型	1体型	【PCa採用実績の評価項目】 ・経済性・施工性・構造的性
5	ボックスカルバート	B2.5×H2.3	5.75	中型	1体型	【PCa採用実績の評価項目】 ・経済性・工期・構造的性・施工性・維持管理性・環境性

# 遠隔臨場の活用促進

## 遠隔臨場 実施要領の一部改定

### 【ポイント】

- ・費用は、受発注者協議の上で決定する旨を明記
- ・通信機器の環境に応じた遠隔臨場の適用を明記

図：主な改定箇所

### 【費用】

・通信環境の改善費用、デジタル機器（デジタルレベル等）追加購入費用等に関して、受発注者双方で協議できるようにするため、「6. 費用算出方法」において、

**“受発注者間の協議を踏まえ” の文言を追加**

### 【通信機器故障の可能性】

・通信機器が故障する環境について注意喚起をするため、「5.2 留意事項」において、**“通信機器故障の可能性があると判断された場合（例えば、夏場の気温上昇、地下水の多量出水等）は、受発注者間で協議して、遠隔臨場の実施可否を検討する。” の文言を追加**

## 遠隔臨場 取組事例集（第二版）の作成

### 【ポイント】

- ・初版事例集の取組事例に加え、通信環境の改善やレベル確認用のアタッチメントなど、さらに遠隔臨場が促進されるよう追加！！

建設現場における遠隔臨場 事例集 第二版 目次

No.	地域	工事名称	創意工夫	No.	地域	工事名称	創意工夫
1	北海道	日高自動車道新冠町大野郡西改良工事	手振れ防止 スタビライザイヤホンマイク	15	中部	令和元年度 北勢B-P坂部トンネル工事	中継無線LANの増設
2		一般国道234号由仁町本三川線供養橋外一連工事	電磁対策 多方向アップ方向デジタルノギス	16	近畿	名張大橋迂回橋仮設設置工事	映像・音声のクラウド自動保存
3		徳島川橋下部工事	簡易カメラ	17			
4		高田地区交通安全施設等工事		18			
5	東北	広瀬橋門橋地区改良舗装工事		19			
6		最上川中流名木沢上流地区災害復旧工事		20			
7		R2川南第三団地工、第10・11期工（1期）工事		21			
8	関東	R2村松川右岸不ト護岸災害復旧工事		22			
9		横浜南港道路トンネルその3工事		23			
10		K3品木ダム築上工事	深淵山形形 視覚表示 GPS測位システム	24	九州	皇子川1第3砂防堤堤岸工事	
11		R3・4総延長 小泉道路その2・7工事	ワイヤレスイヤホン ジンバル	25		令和3年度 立野ダム貯水地洪水設置工事	
12	北陸	R3総延長 小泉道路その2・4工事	ジンバル Bluetooth外部スピーカー	26	中部	令和2年度 小湊道路橋梁下部工（P20）工事	
13	中部	令和2年度 設楽ダム右岸工事用道路工事	複数タブレットの使用 デジタルノギス	27	中部	令和3年度 野田地区交通安全	
14		令和3年度 1号伊勢大橋長良川左岸下部工事	デジタルノギス 拡大カメラによる角度確認				

**第二版 約30事例を追加**

建設現場における遠隔臨場 取組事例集 (第二版)

令和5年3月

国土交通省

### <追加事例>

電波状況改善装置、中継無線LAN増設、外部アンテナ付Wi-Fi、デジタルノギス、拡大分度器による角度確認、レベル確認用アタッチメント、手振れ防止ジンバル（スタビライザ）、首掛けスタンド、骨伝導イヤホン、Bluetooth外部スピーカー、逆光対策スモークフィルム、ICT施工現場端末アプリ、杭打ちアプリ、自動追尾トータルステーション など

# インフラDXモデル工事

## <四国地方整備局におけるインフラDXモデル工事>

○日建連の協力を得て、地域の建設業が使用可能な最新技術を多く含む一般土木C等級の工事

### <背景>

- 四国地方は高齢化が他地域と比べ10年早いと言われており、建設業の担い手の中長期的な育成・確保は喫緊の課題。
- 建設業就業者の高齢化や減少に対応するためには、新技術の導入による建設産業の生産性向上と若手技術者の確保や育成が必要。
- 若手技術者を確保するためには、保護者に建設業界がインテリジェンスでかつ安全にも十分配慮した業界であると認識頂くことが必要。

### <インフラDXモデル工事の取組>

- **地域の建設業が、「使ってみたい」と思う最新技術を取り入れる。**
- **保護者が納得するインテリジェンスや安全をアピールできる最新技術を取り入れる。**

#### <令和4年度モデル工事>

工事名：令和4年度 今治道路  
いかなし  
 五十嵐高架橋下部P47-P49工事  
 受注者：白石建設工業(株) (一般土木C)  
 技術協力：日本建設業連合会

#### <建設DX事例集>

- 小規模工事への取組み推進に向け、会員企業が保有する技術やノウハウを広く全国に普及させ、活用することを念頭に作成。(91技術)



※建設DX事例集  
QRコード



#### <建設DX事例集をもとに、当該工事で活用する5技術>

DX事例集番号	会社名	事例名	事例集掲載ページ
29	鹿島建設(株)	AI配筋検査システム	57
42	清水建設(株)	3眼カメラ配筋検査システム 写らく	83
71	(株)不動テトラ	点群データを活用した構造物の施工管理	141
74	三井住友建設(株)	リアルタイム鉄筋出来形自動検測システム「ラクカメラ®」	147
82	(株)浅沼組	VRによる安全教育訓練	163

# インフラDXモデル工事

## 四国の建設業界対象の 3/10DX現場見学会

日時：R5.3.10（金）13：30～15：30

## 四国地方整備局におけるインフラDXモデル工事とは

新技術の導入による建設産業の生産性向上と若手技術者の確保や育成を目的に、地域の建設業の方が「使ってみたい」と思う最新技術を取り入れて、将来を担う児童やその保護者にも、業界の変化を理解頂く工事。

## 小学生&保護者を迎えた 3/11建設DX参観日

日時：R5.3.11（土）10：00～12：00

四国4県の建設業者等  
34社から  
約100名が参加

令和4年度 今治道路五十嵐高架橋下部P47-P49工事



主催者挨拶

モデル工事の  
主旨説明

松山河川国道事務所長  
挨拶



最新のDX技術や建設機械を体験し、  
従来の3Kイメージから新3K+  
カッコイイを加えた新4Kイメージ  
を目指す最新の建設業を  
児童やその保護者と一緒に実感！

現場近隣の清水小学校4～6年生と  
保護者の約50名が参加  
(スタッフ合わせ総勢約140名)

楽しかった！

今日はどうだった？



配筋計測システムの各社説明

鉄筋径・ピッチの違う  
難易度高めの  
模擬鉄筋で実証

DX最新技術を各ブースで体験！

3次元出来形管理ブース

VRによる安全教育を体験

レーザー測定器を体験

ドローン操作を体験

お宝はどこかな？自動追尾測量開始！

自動配筋検査技術を体験

開催場所：愛媛県今治市五十嵐  
(五十嵐高架橋下部建設現場)  
工事名：令和4年度 今治道路  
五十嵐高架橋下部P47-P49工事  
工事概要：橋梁下部(橋脚) 3基  
受注者：白石建設工業(株) (一般土木C)  
技術協力：日本建設業連合会

地元テレビ(南海放送)の  
報道取材も！

地元テレビ等(あいテレビ、  
テレビ愛媛、愛媛新聞)の  
報道取材も！

電動BHを操作体験

保護者の方もVRを体験